真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月14日

事務事業名	基幹系システム運用事業		担当課・係	総務部　デジタル戦略課　システム管理係
政策名　No	7	「行政経営づくり」～効率・効果アップ！～	関連する SDGs･DX	 DX
施策名　No	3	安定した行財政運営		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	重大なシステム障害の発生件数	回	0					0
	誤操作により発生した事故・障害等の件数	回	0					0

事業内容

基幹系システム等の運用、管理を図る。
①TASKシステム関連業務
　機器の保守、レンタル、リースを管理し、事務に支障が出るトラブル発生を抑制し、スムーズな事務処理に繋げる。
②各システム管理業務
　施設内で稼働している各システムを管理する。
　各課での機器購入等が予定されている場合は、その内容を審査し、各種機器の調達スケジュール、予算、スペック等の妥当性を判断する。

前年度の課題（Check）

①TASKシステム関連事業
　基幹系20業務については、ガバメントクラウドへの移行と国の策定する標準仕様に準拠したシステムへの移行を図った。
　今後も予算面での増減が出る中にあって、どのような契約・運用体系で事業を実施していくのか検討が必要になる。
②各システム管理業務
　事務用PCの総入替を実施し、職員の事務効率化を図った。
　事務用PCについては、約5年での更新が見込まれることから、次期更新に向けて利用者からの要望等を如何に反映させるのか、物価高騰が続く中でどこまで費用を抑えるかが課題となる。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

①TASKシステム関連業務
◆システムハードウェア保守
　TASKシステム関連に関する各機器保守、ガバメントクラウドネットワーク運用補助、ガバメントクラウドASP運用補助
◆ソフトウェアレンタル
　TASKシステムに関する各機器レンタル
◆ハードウェアリース
　TASKシステムに関する各機器リース

②各システム管理業務
◆第5次LGWANアクセス回線開設
　第4次LGWANからの切替を実施
◆プリンタ、複合機更新業務
　各課に設置されているプリンタ及び複合機の更新
◆システム内容審査
　各課で導入を希望する各種機器、システム等の予算、スペック等の妥当性を審査

【2】結果と課題（Check）

　各システムの更新においては、事務に支障が出ぬよう調整を図り、スムーズな更新に繋げた。一方、次世代公会計システムへの更新では、電子決済への画面展開が従来よりも時間を要することになってしまい、特に、会計課においての事務処理に支障が出てしまったことから、次年度事業者と協議を進め、改善に努めていきたい。
　また、各課で導入を検討している各種機器やシステム等の導入については、システム内容審査受講の有無を予算書内に明記することで、予算ヒアリング時のスムーズな聞き取りに繋げることができたが、内容審査を受けずに予算要求に至った部署もあったことから、今後は漏れのないように周知徹底を図っていく。なお、内容審査申請件数は年々増加傾向にあり、令和６年度と比較しても倍となっており、事務的負担が増加している。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

◆システム内容審査受講の周知徹底
　各課での審査漏れが出ないよう、掲示板や課長会議において周知徹底を図る。
◆次期ネットワークシステム導入の内容協議
　令和２年度の新庁舎建設時に導入したネットワークシステムの更新が急務であることから、どのような形式での更新が適しているか、そのメリットとデメリットを精査し、専門的知見のあるアドバイザーの意見を踏まえ、庁内での合意形成を図りながら、令和９年度の更新に向けた協議を進める。

（2）長期的な計画で検討すること

◆各システムの更新計画の再検討
　定期的な更新が必要となる各種システムにおいて、費用対効果を再検討しながら、購入とすべきか、リースとすべきか、補助金の有無や起債対象の有無を調査し、更新計画の内容を再検討する